

植物保護シンポジウム

「気候変動と農業科学—植物保護を考える—」

●趣 旨：

人口増加と人類活動の拡大が気候変動とともに生態系に不可逆的な変貌を強いている今日、食糧を恒常的に確保することが次第に困難になりつつある。このような状況において、食糧の量的かつ質的な安定供給を達成することが農学の最大の使命で、それに向けて新しい植物保護科学を展開させることが期待されている。そこで、本シンポジウムでは、気候変動に伴って発生した課題を整理し、植物保護科学の果たすべき役割について議論を深めたい。

●日 時：2009年12月2日（水）13時より17時（12時開場）

●会 場：東京大学弥生講堂（地下鉄 南北線「東大前」駅下車徒歩1分）

<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/>

●主な対象：研究者、一般、学生・院生

●参加費：無料

プログラム

13:00 開会挨拶 上野民夫（大日本除虫菊株式会社）

13:05 基調講演：「世界の農民生産」丸紅経済研究所長 柴田明夫

話 題 提 供 (13:45～16:15)

地球温暖化と水田雑草の動態の変化

森田弘彦（秋田県立大学：13:45）

地球温暖化の昆虫に対するインパクト

藤崎憲治（京都大学：14:15）

地球温暖化に伴うカンキツ・グリーンング病対策

岩波 徹（果樹研究所：14:45）

気候変動が農薬の挙動と効果に及ぼす影響

與語靖洋（農業環境技術研究所：15:15）

気候変動に伴う植物化学調節技術の展望

吉田茂男（理化学研究所：15:45）

休 憩 (16:15～16:30)

16:30 総合討論

17:00 閉会挨拶 上路雅子（日本植物防疫協会）

主 催：植物保護シンポジウム実行委員会

日本応用動物昆虫学会・日本植物病理学会・日本農業学会

植物化学調節学会・日本雑草学会

連絡先：寺岡 徹（東京農工大学）

東京都府中市幸町 3-5-8 Tel: 042 - 367 - 5692

e-mail: teraoka@cc.tuat.ac.jp

シンポジウム終了後、懇親会（会費3,000円）を開催します。会費は当日徴収します。